

1、300人が 追悼式に参列

12月29日、養父市主催の故佐々木憲二養父市長追悼式が八鹿文化会館ホールで執り行われました。

式典には、国会議員や井戸敏三兵庫知事、原亮介兵庫県議会議長らをはじめ県議会議員、市議会議員、県内の市町長、区長や行政委員のみなさんなど約1、300人が参列しました。

開式前には、故佐々木憲二市長の功績に対し、従五位・旭日小綬章が井戸兵庫知事からご遺族に伝達され、また同知事から感謝状の贈呈も行われました。

式典では、養父市長職務代理者の和田金男養父市助役が「市民の絶大な支持を受けて当選され、初登庁さ



位記・勲記、感謝状が井戸兵庫県知事から照子夫人に手渡される

れた日が昨日のことに思えてなりません。市民は、養父市の発展は市民一人ひとりの責務であり、課題であることを承知しておりますので「安心ください」と述べ、井戸兵庫知事は「台風23号被害の復旧などに追われ、自身の不調にも気づかれなかったのでしょうか。ふるさと養父と兵庫のためにもっと活躍していただきかったのに、悔しい限りです」と述べるなど、多くの方が追悼のこゝとばを捧げました。

最後に、会場を訪れた参列者一人ひとりが故人を偲んで献花を行い、故佐々木憲二市長のご冥福をお祈りしました。



バレーボール但馬大会で優勝した宿南ファイターズのメンバーをねぎらう佐々木市長(昨年6月24日)

地域の発展に 懸命に取り組まれる

故佐々木憲二氏は、昭和59年に兵庫県議会議員に初当選されて以来、6期約20年にわたって養父郡の発展に多大な貢献をされました。また、平成13年には第104代兵庫県議会議長も務められました。

昨年5月に行われた養父市長選挙に立候補して当選。初代養父市長として、合併直後の円滑な市政運営と住民福祉の向上に尽力されました。特に、昨年10月に養父市に大きな被害をもたらした台風23号災害では、災害対策本部長として職員の陣頭指揮を執り、国や県など関係機関に対して災害復旧・復興支援を強く働きかけるなど、市民生活の復興に懸命に取り組まれました。

故佐々木憲二氏の略歴

- 昭和22年1月 養父郡八鹿町浅間に生まれる
- 昭和45年3月 関西学院大学理学部卒業
- 昭和45年4月 鐘淵化学工業株式会社に入社
- 昭和49年4月 同社ヨーロッパ(ベルギー)駐在
- 昭和54年6月 帰国、本社勤務
- 昭和59年9月 兵庫県議会議員養父郡補欠選挙で初当選(以降6期連続当選)
- 平成13年6月 第104代兵庫県議会議長に就任
- 平成16年5月 初代養父市長に就任

養父市長選挙

1月30日に投票

佐々木憲二市長の死去に伴う養父市長選挙は、1月23日告示、1月30日に投票が行われます。

▼投票日 1月30日(日)

▼投票できる人

- ・年齢要件 昭和60年1月31日までに生まれた人
- ・転入要件 平成16年10月23日までに転入し、引き続き養父市に居住されている人

▼入場券を忘れずに

投票するときは、投票所入場券を忘れずに持参してください。

なお、入場券の配布は、各区長さんを通じて1月25日頃に各世帯に配布しますが、お手元に届かない場合は、早めに市選挙管理委員会まで申し出てください。

▼期日前投票制度を活用ください

投票日に仕事や旅行などで投票ができない人は、次の期間に期日前投票ができます。

- ・期間 1月24日から1月29日
- ・時間 午前8時30分から午後8時まで

・投票場所 養父市役所及び各地域局

▼お問い合わせ

養父市選挙管理委員会 (☎66213161)